



ASTON MARTIN

2016.7.6

報道関係各位

アストンマーティン・ジャパン

**PressRelease**

**アストンマーティンとレッドブル・レーシングが、AM-RB 001 ハイパーカーを発表**

- アストンマーティンとレッドブル・レーシングとのテクニカル・パートナーシップから誕生した革新的な AM-RB 001 ハイパーカー
- 新開発された高回転型自然吸気 V12 エンジンを搭載
- ミッドシップ・エンジンと 2 シーターで、軽量構造からパワー・ウェイト・レシオは 1.0
- 公道走行可能なバージョンおよびサーキット専用バージョンの 2 タイプを用意



2016 年 7 月 5 日、ゲイドン(英国)：

本日、アストンマーティンとレッドブル・レーシングは、革新的なハイパーカーを発表しました。このクルマには、AM-RB 001 というコードネームが付けられています。

AM-RB 001 は、英国のラグジュアリー・ブランドであるアストンマーティンと、有名な F1 チームであるレッドブル・レーシングのユニークで革新的パートナーシップによるものです。



## ASTON MARTIN

このパートナーシップにより、野心的であり、一切の妥協を排したコラボレーションが実現し、世界を主導する両ブランドのビジョンとスキルを結集させて、これまでに見たこともないようなロードカーが製作されました。

両ブランドのビジョンを共有する作業には、3名の人物が関わっています。その人物とは、レッドブル・レーシングのチーフ・テクニカル・オフィサーであり、世界でもっとも成功した F1 マシン・デザイナーのエイドリアン・ニューウェイ、アストンマーティン・エグゼクティブ・バイス・プレジデント兼チーフ・クリエイティブ・オフィサーのマレク・ライヒマン、そしてアストンマーティン・バイス・プレジデント兼チーフ・スペシャル・オペレーションズ・オフィサーのデイビッド・キングです。彼ら3人が協力しながら、この類まれなパートナーシップにおける主導的な役割を果たしています。アストンマーティンは、100年を超える栄光の歴史を持ち、世界でもっとも美しくカリスマ的な GT カーを製造するスペシャリストです。一方のレッドブル・レーシングは、卓越した技術を備え、スピードと効率性を絶え間なく追及する姿勢により、非常に競争の厳しい F1 の世界で大きな成功を収めています。

ライヒマンとニューウェイは、形態と機能を前例のない形で融合することを目指し、プロジェクトのあらゆる面において密接に協力しました。その結果として生まれた AM-RB 001 は、公道における扱い易さや走る喜びを実現しながらも、サーキットでは従来のロードカーとは一線を画したパフォーマンスを発揮します。また、より激しいスポーツ・ドライビングを求める方々のために、最新の LMP1 ルマン・スポーツ・プロトタイプの様式に沿った、サーキット専用の AM-RB 001 も開発されています。

軽量のカーボンファイバー構造のボディを持つ AM-RB 001 は、真に革新的なエアロダイナミクスにより、公道走行可能なクルマとしては、前例のないレベルのダウンフォースを発生します。ニューウェイの天才的な設計によるこのダウンフォースは、アンダーフロアのエアロダイナミクスによって生み出されます。ライヒマンは、このアンダーフロアを基盤として、最先端のダイナミクスとアストンマーティンならではのエッセンスをエレガントに融合し、純粹かつ思わず息を飲むようなダイナミックなフォルムを製作しました。

あらゆる面で一切の妥協を排した AM-RB 001 は、両ブランドのタイアップから生まれたビスポーク・マシンです。このクルマは、アストンマーティン・オリジナルのハイパーカー、One-



## ASTON MARTIN

77 が製造されたゲイドンの専用施設で、デイビッド・キングと彼の率いるチームによって製造されます。AM-RB 001 の詳細な技術仕様は今後明らかになりますが、その心臓部には新開発された高回転型の自然吸気 V12 エンジンがミッド・マウントされます。車両重量を出力で割ったパワー・ウェイト・レシオは、わずか 1.0 という驚異的な数値を達成しています。

高速走行における究極のエアロダイナミクスと、コンセプトの根幹となる公道における使い勝手の良さや高い快適性を実現するため、AM-RB 001 のサスペンション・システムには、革新的な技術と共に、ニューウェイの 30 年以上に及びキャリアの中で培われてきた理論が採用されています。同様に、トランスミッションには、ニューウェイがアイデアを出して、レッドブル・アドバンスド・テクノロジーズが開発した「クリーン・シート」デザインが採用されています。

限界を超えるパフォーマンスも決定的に重要な要素ですが、効率とパッケージングにも同様に重点が置かれています。他の追従を許さないニューウェイの専門知識により、AM-RB 001 は非常に軽くコンパクトに仕上がっていると同時に、素晴らしい快適性を備え、ドライバー & パッセンジャーおよび V12 エンジンのための十分なスペースも確保されています。

レッドブル・レーシング・チーフ・テクニカル・オフィサーのエイドリアン・ニューウェイは、AM-RB 001 プロジェクトに関して、次のように述べています。「私は、長年にわたって、公道走行可能なロードカーを設計したいという思いを抱いてきました。レッドブル・アドバンスド・テクノロジーズを設立したことによって、この思いは実現に一步近づきましたが、この夢を実現するためには、自動車メーカーと共に作業を行うべきであると確信していました。自動車メーカーとして、まず初めに私の頭の中に思い浮かんだのがアストンマーティンでした。レッドブル・レーシングとアストンマーティンによって生み出される相乗効果は言うまでもないでしょう。レッドブル・レーシングは、純粋にパフォーマンスを追求するという点に関しては卓越した能力を持っています。美しく、速く、そして快適な GT カーを製作するというアストンマーティンの能力は、今回のプロジェクトに大きなメリットをもたらします。私は常に、AM-RB 001 はサーキットで究極のパフォーマンスを発揮する能力を持った、公道走行可能なロードカーであるべきだと信じてきました。これが意味することは、AM-RB 001 が 2 つの異なる特性を備えたクルマでなければならないということです。扱い易く快適でありながらも、途方



## ASTON MARTIN

もないパフォーマンスを発揮するテクノロジー。これこそが、私がこのクルマに求めた秘密の鍵なのです。」

アストンマーティン・バイス・プレジデント兼チーフ・スペシャル・オペレーションズ・オフィサーのデイビッド・キングは、次のように付け加えています。「アストンマーティンで働くということは、非常に特別なプロジェクトの一員になるということでもあります。その中でも、AM-RB 001 プロジェクトは、まさに一生に一度あるかないかの夢のプロジェクトといえるでしょう。もちろん、これはエンジニアリング面における壮大なチャレンジでもあります。しかし、常識を覆そうというこのプログラムの目標が、プロジェクトにかかわったすべての人々の闘志に火をつけたのです。私たちは、ここゲイドンに、世界有数の人材と施設を持っています。私たち全員は、偉大なことを成し遂げて、アストンマーティンをロードカー・パフォーマンスの絶対的な頂点に押し上げようというモチベーションを持って仕事をしています。」

アストンマーティン・エグゼクティブ・バイス・プレジデント兼チーフ・クリエイティブ・オフィサーのマレク・ライヒマンは、AM-RB 001 に関して次のようにコメントしています。「エイドリアンやレッドブル・レーシングといった組織と緊密に協力することは、私たちにとって素晴らしい経験となっています。目標を設定するにあたって、私たちはこれまでアストンマーティンには決してなかったクルマ、あるいは世界中のどこにも存在しなかったクルマ、まさに AM-RB 001 のようなクルマを製作することを目指しました。そして、もっとも効率的なエンジニアリングと、もっとも美しいスタイリングを、一切妥協することなしに実現するという、極めて困難なチャレンジに取り組みました。私の個人的なチャレンジは、AM-RB 001 の卓越したパフォーマンスと、そのパフォーマンスを引き出すためのユニークな方法となって現れています。そのスタイルは、非常に革新的である一方で、アストンマーティンでなければ表現できない形態や美しさも兼ね備えています。」

アストンマーティン社長兼最高経営責任者 (CEO) の Dr. アンディ パーマーは、次のようにコメントしています。「AM-RB 001 は、真に注目に値するプロジェクトです。このようなプロジェクトを実現できたことを大変誇りに思っています。アストンマーティン、エイドリアン・ニューウェイ、レッドブル・レーシング、そして多大な貢献をしてくれたプロジェクト・パートナーの AF レーシング AG が一緒に仕事をすることによって、独創的なコラボレーションが誕生しました。最高レベルのロードカーとレーシングカーを融合する究極のコラボレーションです。プ



## ASTON MARTIN

プロジェクトが進むにつれて、まさに歴史を塗り替えるようなハイパーカーの誕生が現実味を帯びてきました。AM-RB 001 は、パッケージング、効率とパフォーマンスの面で新たなベンチマークを打ち立て、アストンマーティンをさらなる高みへと引き上げるでしょう。」

レッドブル・レーシングのチーム代表を務めるクリスチャン・ホーナーは、次のように述べています。「レッドブル・レーシングは、非常に競争の激しい F1 マシンの開発において、常に革新を追求しています。レッドブル・テクノロジーズのコンセプトやオペレーション手法といった専門知識が、今回の先進的なプロジェクトとパートナーシップに適用されました。アストンマーティンとの関係および AM-RB 001 の実現は、時代の先駆けとなるものであり、両者の相乗効果と新たな境地を開拓したいという願望から生み出されたものです。AM-RB 001 は、このような協調の精神にインスピレーションを受けた製品です。」

この革新的なパートナーシップにおいて、AM-RB 001 のエンジニアリング面は Q by Aston Martin Advanced およびレッドブル・アドバンスド・テクノロジーズが共同で担当し、製造はアストンマーティンのゲイドン工場で行なわれます。製造台数は、今後製作されるプロトタイプと 25 台のサーキット専用バージョンを含めて、99~150 台が予定されています。お客様への納車は、2018 年より開始される予定です。